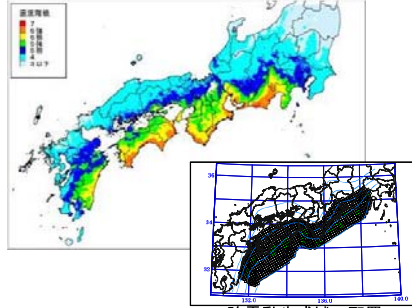


南海トラフの巨大地震による最大クラスの震度分布

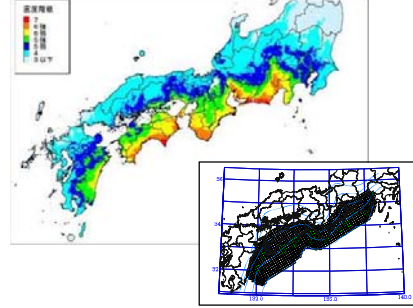
強震波形計算による震度分布

基本ケース



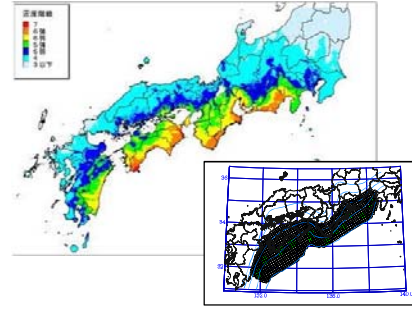
強震動生成域の配置

東側ケース



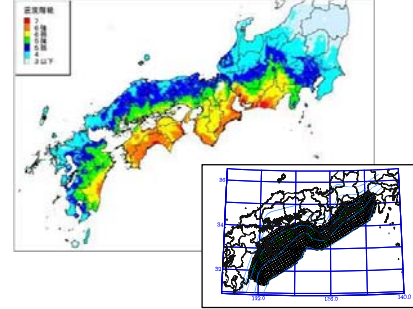
強震動生成域の配置

西側ケース



強震動生成域の配置

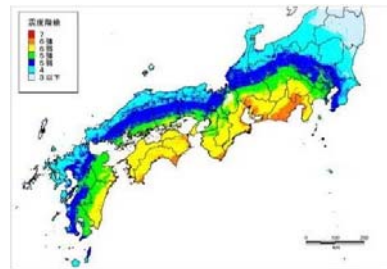
陸側ケース



強震動生成域の配置

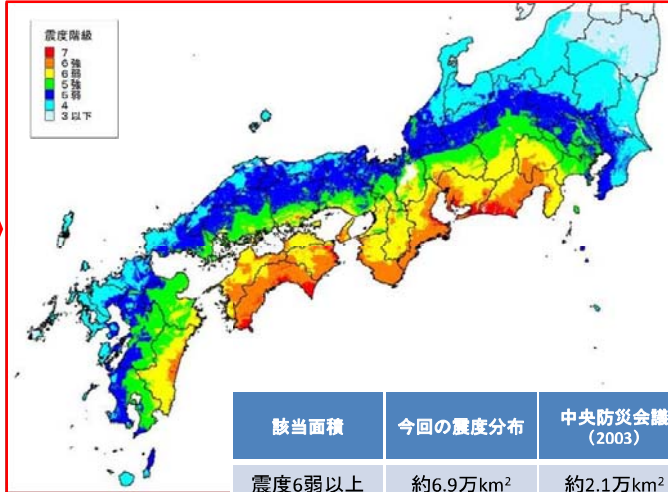


経験的手法による震度分布



【最大クラスの震度分布】

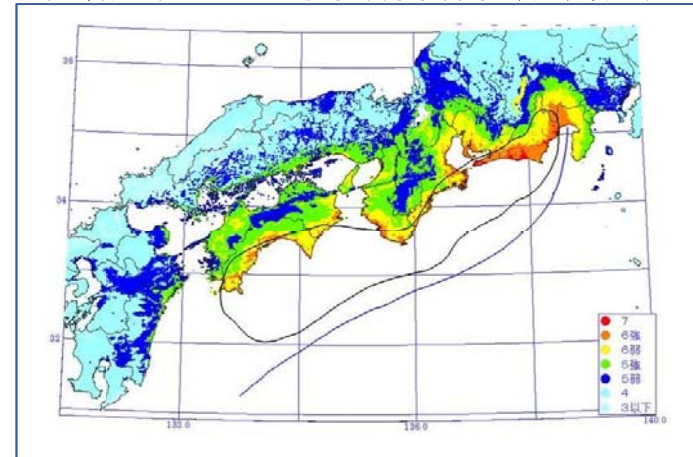
強震波形4ケースと経験的手法の最大震度重ね合わせ



該当面積	今回の震度分布	中央防災会議 (2003)
震度6弱以上	約6.9万km ²	約2.1万km ²
震度6強以上	約2.8万km ²	約0.5万km ²
震度7	約0.7万km ²	約0.03万km ²

【参考】

中央防災会議(2003)の東海・東南海・南海地震の震度分布図



出典：内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」記者発表資料（平成24年3月31日）

南海トラフの巨大地震モデル検討会 第1次報告による想定震度分布

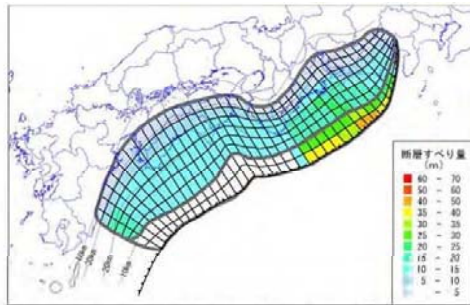
	基本ケース	陸側ケース	東側ケース	西側ケース	経験的手法	最大クラス	中防2003	県3次想定
湖西市	7	7	7	7	6強	7	6強	7
浜松市浜北区	7	7	7	6強	6強	7	7	6強
浜松市中区	7	7	7	7	7	7	7	6強
浜松市西区	7	7	7	7	7	7	7	7
浜松市南区	7	7	7	7	7	7	7	6強
浜松市北区	7	7	7	6強	7	7	7	7
浜松市天竜区	6強	7	6強	6弱	6強	7	6強	6強
浜松市東区	7	7	7	7	7	7	7	6強
磐田市	7	7	7	7	7	7	7	7
袋井市	7	7	7	7	7	7	7	7
森町	7	7	7	6強	7	7	7	7
掛川市	7	7	7	7	7	7	7	7
菊川市	7	7	7	7	7	7	6強	7
御前崎市	7	6強	7	6強	7	7	6強	7
牧之原市	7	6強	7	7	7	7	6強	7
吉田町	6強	6強	7	7	7	7	7	7
島田市	7	6強	6強	7	7	7	7	6強
焼津市	7	6強	6強	6強	7	7	7	7
藤枝市	7	6強	7	7	7	7	7	7
川根本町	6強	6強	6強	6強	6強	6強	6弱	6強
静岡市駿河区	7	6強	7	7	7	7	7	7
静岡市葵区	7	6強	6強	7	7	7	7	7
静岡市清水区	7	6強	7	7	7	7	7	7
富士市	6強	6弱	6強	6強	7	7	6強	7
富士宮市	6強	6弱	6強	6強	6強	6強	6強	6強
沼津市	6強	6弱	6強	6弱	6強	6強	6強	7
伊豆市	6弱	5強	6強	6弱	6強	6強	6弱	6強
西伊豆町	6弱	5強	6強	6弱	6強	6強	6強	6強
松崎町	6弱	6弱	6強	6弱	6強	6強	6弱	6強
南伊豆町	6弱	5強	6弱	6弱	6強	6強	6弱	7
下田市	6弱	5強	6弱	6弱	6強	6強	6弱	6強
河津町	6弱	5強	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	6弱
東伊豆町	6弱	5強	6弱	5強	6弱	6弱	5強	6弱
伊東市	6弱	5強	6弱	6弱	6強	6強	5強	7
熱海市	6弱	5強	6弱	6弱	6強	6強	5強	6強
伊豆の国市	6弱	5強	6弱	6弱	6強	6強	6弱	7
函南町	6弱	5強	6弱	6弱	6強	6強	6弱	7
三島市	6弱	6弱	6弱	6弱	6強	6強	6弱	7
清水町	6弱	6弱	6弱	6弱	6強	6強	6弱	6強
長泉町	6弱	5強	6弱	6弱	6強	6強	6弱	6強
裾野市	6弱	6弱	6弱	6弱	6強	6強	6弱	6強
御殿場市	6弱	6弱	6弱	6弱	6強	6強	6弱	6強
小山町	6弱	6弱	6弱	5強	6強	6強	6弱	6強

※この表は、内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」記者発表資料(平成24年3月31日)を基に静岡県危機管理部において作成したもの

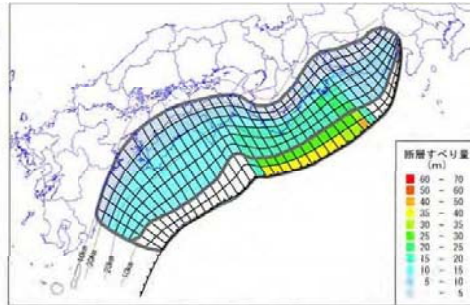
※それぞれの市町における最大の震度を示したもので、その市町が全てこの震度になるわけではない

※県3次想定 of 浜松市の各区、静岡市駿河区、葵区は震度分布図から判読

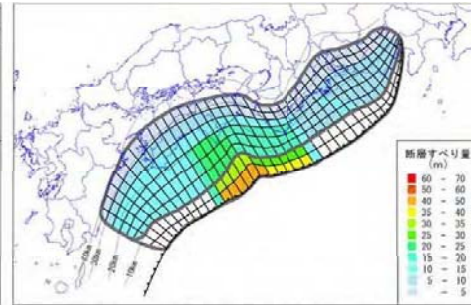
津波断層モデルのすべり量の設定



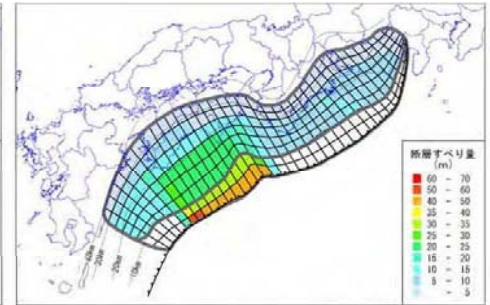
【ケース① 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域を設定】



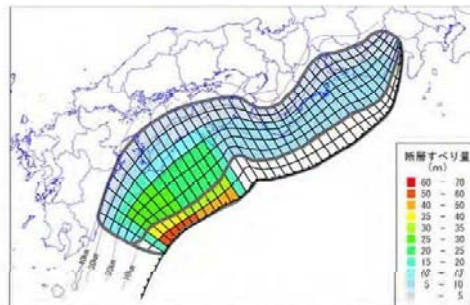
【ケース② 紀伊半島沖に大すべり域を設定】



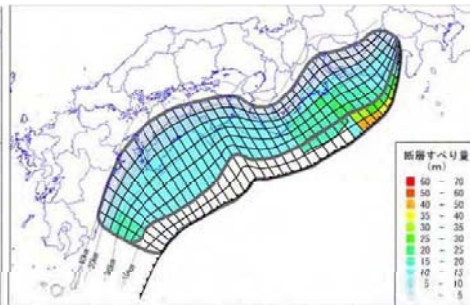
【ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定】



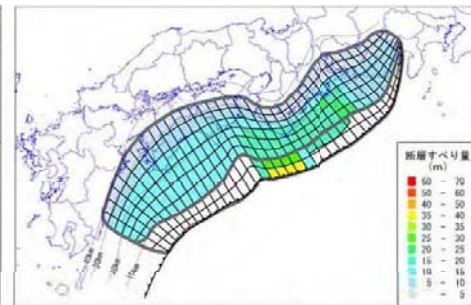
【パターン④ 四国沖に大すべり域を設定】



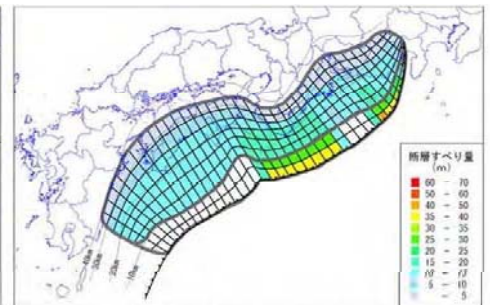
【パターン⑤ 四国沖～九州沖に大すべり域を設定】



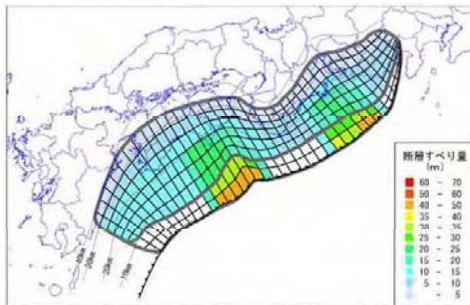
【ケース⑥ 駿河湾～紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



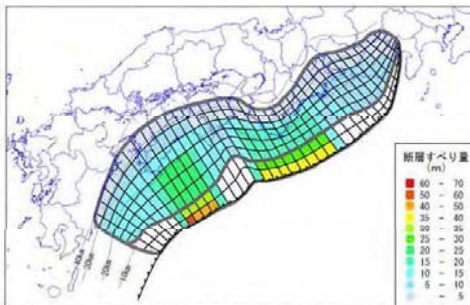
【ケース⑦ 紀伊半島沖に大すべり域＋分岐断層】



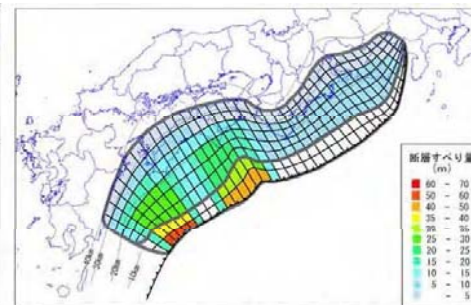
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】



【ケース⑨ 愛知県沖～三重県沖、室戸岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑩ 三重県南部沖～徳島県沖、足摺岬沖に大すべり域を設定】



【ケース⑪ 室戸岬沖、日向灘に大すべり域を設定】

出典：内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」記者発表資料（平成24年3月31日）

津波の高さグラフ(満潮時)

海岸における津波の高さの最大値分布 (2)

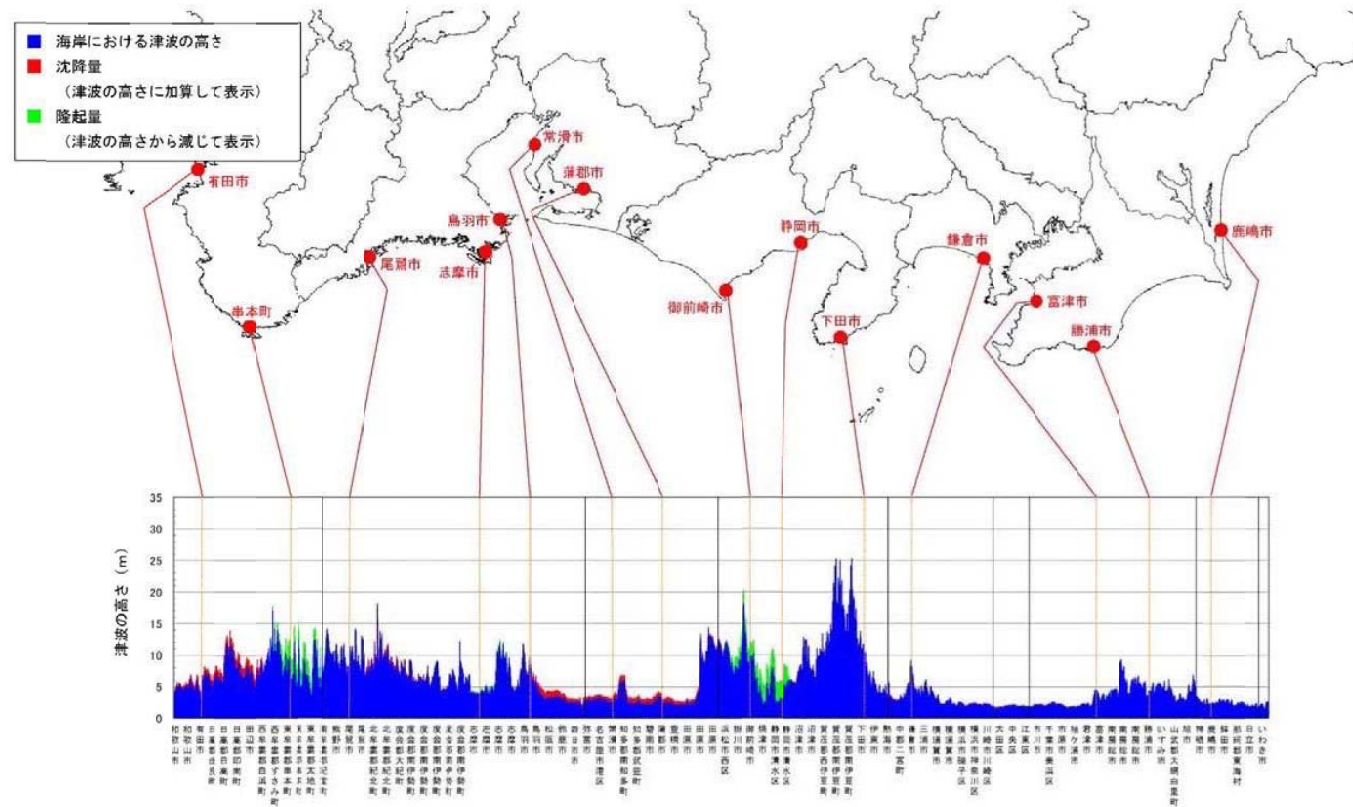
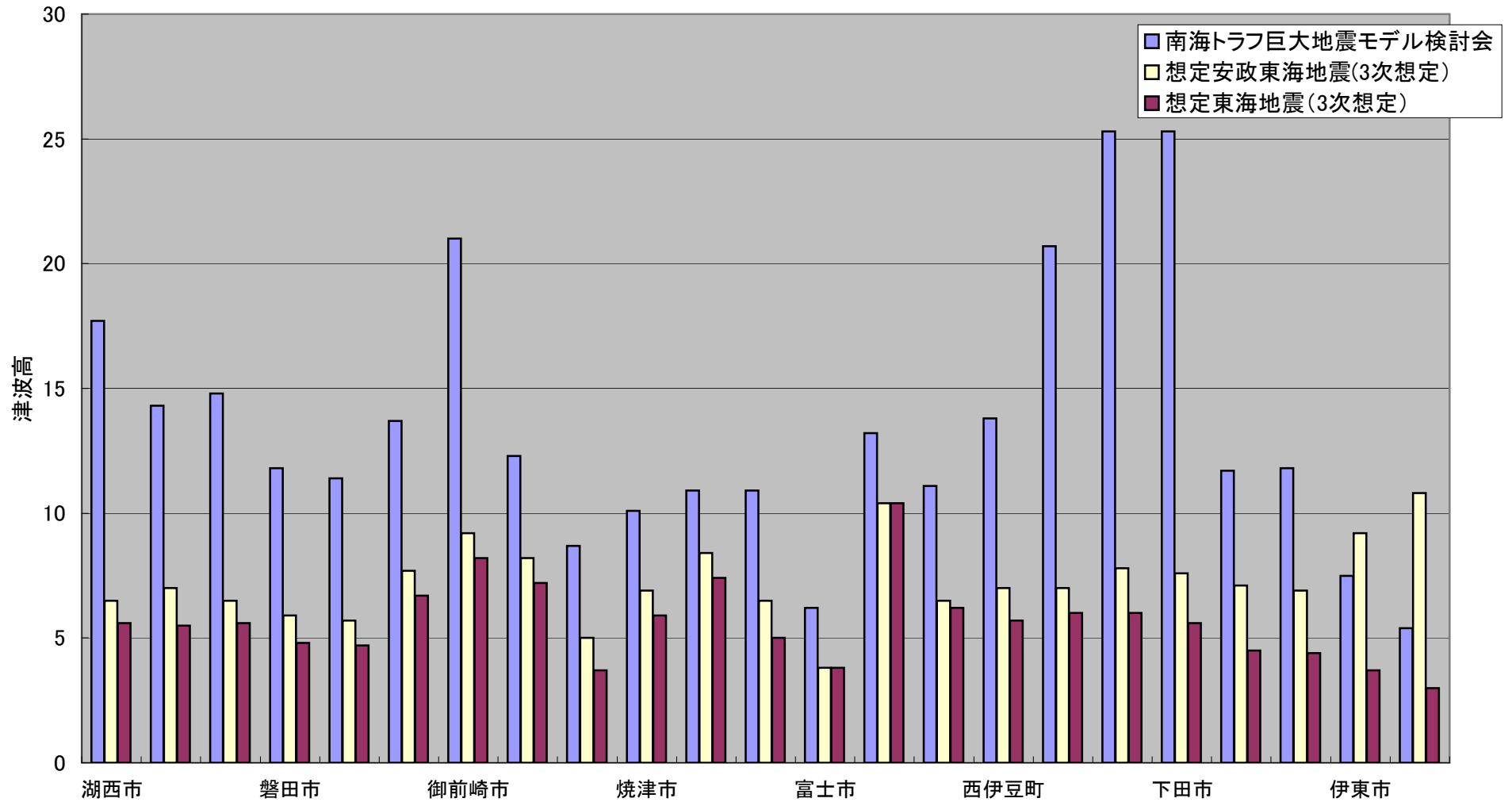


図 海岸の津波の高さグラフ(満潮時)(2)
【ケース⑧ 駿河湾～愛知県東部沖、三重県南部沖～徳島県沖に大すべり域を設定】

出典：内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討」記者発表資料（平成24年3月31日）

国・県の津波想定と比較



※このグラフは内閣府「南海トラフの巨大地震モデル検討会」記者発表資料(平成24年3月31日)を基に静岡県危機管理部において作成したもの
 ※想定安政東海地震は津波高、遡上高の高い方を記載